

公表日

令和7年 2月 20日

事業所名

こぼんはうさくら 佐倉王子台教室

保護者等数(児童数) 18名

回収数 18件(割合100%)

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	6	1		・部屋が狭い印象がある。 ・出席人数によっては手狭な日もあるのかな？と感じます。	利用人数に合わせて、机を移動・活動内容の工夫を行なっています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	2		4	・その日、何人子どもがいて何人職員がいるのかが分からない。	利用人数に合わせて職員配置を決定している。子どもには、利用児童と職員人数の可視化をしている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1		2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	2		1	・窓が少ないイメージ。換気が出来ているかが分からない。	気温や子どもの体調を見て入口ドアと窓を開けて換気を行っている。ドア付近には職員が立つ様になっている。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17				・子どもの事をとてもよく見て下さっているのを感じる。とても感謝しています。ありがとうございます。	引き続き、子どもと保護者のニーズに寄り添った計画を作成していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18				・外出の企画を考えて下さったり、子どもに足りない内容がきちんとプログラムに入っていると感じます。	これからもお子様が楽しめる様なプログラムを作成していきます。
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	5	6			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1		1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	3	5	6		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	15	3			・相談する際に、画像も共有出来るようにして頂きたいです。(印刷でなく)	共有方法については検討していきます。引き続き、面談時には画像をお見せしていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	3		2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	2			・お弁当は基本残さないという事を、子どもに教えてください。	本人の体調や様子を見ながら声掛けを行なっていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	4	5	7	・特に開催してほしいとは思っていない為、不満はありません。	希望があれば検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	3	1	3	・電話だけでなく、もっと容易にメッセージのやり取りが出来るとうよいです。常にとは言いませんが時間帯を決めて、など。	11月から連絡帳をメッセージ機能を活用していきます。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	3		1	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18				・デジタル対応もお願いします。 InstagramやHugを活用し行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17			1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	2		6	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	2		2	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1		3	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	3		2	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	1			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	1			・毎日楽しみにしております。 引き続き活動内容の工夫を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1			・いつもありがとうございます。 ・今後もよろしくお願いします。 今後も楽しく通所が出来る様に取り組んでいきます。

公表日

令和7年 2月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 佐倉王子台教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			・段差がある箇所には、今後受け入れる子の特性によってはステップやスロープを置く必要がある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・半年に一度清掃を行っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・気分の変化に応じて、個別になれるスペース・クールダウン時等に使用している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・年末ごろにアンケートを実施している。	
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・ミーティングなどで話しをする機会を設けている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・資料やオンライン研修を実施している。 ・様々な研修を受けた。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・連絡網、配布にて公表している。 ・個別支援計画に添った内容でプログラムを組み、保護者へ公表している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・半年に一度、お聴き取りシートなどを用いながら作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・支援計画に合わせて個別・集団プログラムを考えている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・日々支援記録をつけ、全員が確認している。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・知、徳、体の3つの領域に分け、日々異なったものを行っている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・内容の共有、相談などを行っている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・子どもの行動などについて振り返り、共通認識を持っている。	

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	・日報、個人記録を取り、職員間で情報共有し、支援内容の話し合いを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	・半年に一度行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	「今は何をやる時間？どうしたらいい？」等の声掛けを行い、自分で考えて動ける様に促しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	・管理者や児発管が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	・近くの病院等と連絡を取り、有事の際には診察してもらえる様にしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	・下校時に学校の先生より様子を伺っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		・現在引継ぎ児童の該当はないが、必要に応じて行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	・近くにない。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2		・今後検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	・対象児童がない。	・今後検討していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	・連絡帳、送迎時に子どもの様子をお伝えしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		・この先取り入れていきたい。 ・今後、情報提供など検討していきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	・契約時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	・お聴き取りシートなどを用いて、子ども・保護者の意見や考えを確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	・面談時やお手紙等で説明を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・必要に応じて行っていきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2		・今後検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	・お便りやSNSで活動の様子や日々の様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	・個人情報の記載された資料は鍵付き書庫で保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2		・招待する行事を行っていない為、今後検討していきたい。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・半年に一度、火災・地震想定避難訓練を行ったり、防災センターへの外出をする等して備えている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・内服状況に変更があった際なども確認を行っている。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・おやつ準備等で気を付けている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		毎月個人で数個の事例を挙げ、ファイリングしている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・読み合わせなどを行い、全体で共通の認識をもっている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはすうさくら 佐倉王子台教室		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日		2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2024年 10月 1日		2024年 10月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々、異なる活動を行なっている。	知・徳・体の3つのカテゴリーに分けた活動を考え、子どもに合わせたないよう取り組んでいる。	室内イベントだけではなく、外出イベントを取り入れていく。
2	Instagramなどで、一週間の様子を二回に分けて配信している。	顔を隠すなど、個人情報などを守り、定期的に載せている。	より子どもの様子が分かる様に動画なども積極的に載せていく。
3	定期的に清掃を行っている。(教室内クーラー等の設備)	清潔な環境で過ごす事が出来る様にしている。	日々換気や除菌等を徹底し、子どもが健康に過ごせる様に気を付けていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	相談のしやすさ。	連絡機能の不充実さ。 新機能の周知の低さ。 不慣れ。	Hugの連絡機能を使い、気軽に連絡が出来る様にしていく。
2	地域行事への参加。	イベントが土・日に集中してしまう為、参加が出来ない。 利用人数(該当者)の少なさ。	地域で行われているお祭りへの参加・見学を積極的に行っていく。
3	家族支援に対する研修や実践の少なさ。	ペアレントトレーニングについての周知の低さ。 マニュアルが少ない。	研修を受けたい。 マニュアルの作成。